

【会議の名称】 古賀市特別職報酬等審議会(第3回)

【日時・場所】 平成30年10月18日(木)18:55～20:30 市役所第2委員会室

【主な議題】

1. 会長あいさつ
2. 第2回審議会議事録の承認
3. 追加資料の説明
4. 答申(案)協議
5. その他

【傍聴者数】 0人

【出席委員等の氏名】

宗像優会長、小江正樹委員、倉富史枝委員、高原朱美委員、中西博宣委員、平川由記子委員、藤本芳博委員、舩越信幸委員、古川優子委員

〔事務局〕 総務部長:吉村博文、人事課長:横田浩一、

人事課職員係長:石丸律子、人事課職員係:古賀彩加

【庶務担当部署名】 総務部 人事課 職員係

【委員に配布した資料の名称】

資料番号	名 称
—	平成 30 年度古賀市特別職報酬等審議会(第3回)次第
—	第2回審議会議事録(案)
—	古賀市ふるさと応援寄附推移
—	議会概要
—	答申案

【審議の内容】

1. 会長あいさつ

□会 長

本日、第 3 回古賀市特別職報酬等審議会では、お手元の次第のとおり答申案の協議を行います。限られた時間ですが、しっかりと議論をして答申案をまとめていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

2. 第2回審議会議事録の承認

〔事務局から届いた議事録案を全会一致で承認〕

3. 追加資料の説明

〔配布資料に基づき、追加資料について事務局より説明〕

□会 長

いま追加資料について事務局から説明を受けたが、まず、ふるさと応援寄附の推移について質問や意見等はないか。

□委 員

資料で古賀市に寄附をする人がすごくふえたのはよくわかるが、反対に古賀市から他に寄附することもあるのか。

■総務部長

確かに古賀市民が寄附することもあるが、金額的にはそんなに大きな金額ではない。

□会 長

次に議会概要について、質問や意見等はないか。

特に質問等がなければ、追加資料の説明については終了とする。

4. 答申（案）協議

□会 長

次第4. 答申案について協議を行う。まず事務局から答申案についての説明をお願いしたい。

[配布資料に基づき、答申案について事務局より説明]

□会 長

ただいま答申案について事務局から説明があったが、意見、質問があればお願いしたい。

□委 員

「1 はじめに」の最後の行で「全員一致」となっているが、意見は全員一致ではなかったと思うが。

□会 長

この点に関してはどうか。

■職員係長

委員の発言のとおり前回は全員一致ではなく、増額、減額、現状維持という三つの意見の中での多数決で決まった。

□会 長

この点に関して他の委員から意見はないか。

□委 員

多数決の後に、現状維持でいいかということで確認があったので「全員一致」でいいと思う。

□会 長

一人一人に意見を伺い、それを踏まえて全員で議論をして、全体の意見として現状維持と確認をしたため、今回「全員一致」という表現をしていることになる。

□委 員

意見は、現状維持、増額、減額のいずれもあったが、会長から現状維持でどうかという問いかけがあり委員全員で一致したので、「全員一致」でいいと思う。

□会 長

「1 はじめに」の部分で、「全員一致の結論を得て取りまとめた」となっているが、「6 まとめ」のところで、審議会ではいろんな意見が出たが、最終的には「現状維持で意見が一致した」旨記載されている。「全会一致」の表現で問題はないと思うが。

■職員係長

前回の議事録の8 ページに会長の発言として「事務局のほうで整理してもらったが、三役に関しては現状維持という意見が7名、そして増額が2名、減額が1名、議員に関しては現状維持が7名、増額が2名、減額が1名となっている。皆様からの意見を総合すると、審議会としては、三役、議員ともに現状維持として結論を出すのが妥当ではないかと思う。こういう点で増額するべきだとか、こういう点で減額するべきだという貴重なコメントも委員から出ており、それについては多くの委員も賛同するところがあると思うので、答申書でどのように記すかということもあるが、こういう意見が出たというのはきちんと記載する形で答申書を作成していきたいと思うがいかがか。この審議会として

は、市長、副市長、教育長、議長、副議長、常任委員長、議員すべてにおいて現状維持ということでは、よろしいか。異議なしとの発言あり」となっており、会長から「それでは審議会の意見と決定する」という形で審議会を進行してもらっている。異議なしとなっているので、「全員一致」でいいと考えている。

□会 長

事務局が読みあげた前回議事録の 8 ページでは、現状維持で異議なしという決定だが、その前に増額や減額という意見についても、答申書できちんと反映させるとなっている。答申案の「6 まとめ」に記されているが、特に増額や減額について意見を述べられた方は、この書きぶりで大丈夫かどうかを、今一度確認願う。

他にもこういう論点があったのではないかと、こういう表現がいいというのがあればコメントしてほしい。

□委 員

この内容はどの範囲まで閲覧できるのか。

□会 長

この議事録をだれが見ることができるのかという質問でいいか。

■職員係長

議事録は、会議そのものを公開しているため、審議会で確認後、この内容でいいとなったらホームページに掲載している。

□委 員

古賀市民だけではなく、全ての人がアクセスすれば見られるということか。

■職員係長

そのとおり。

□委 員

「6 まとめ」の最後について、「第 4 次古賀市総合振興計画の都市イメージである『つながり にぎわう 快適安心都市 こが～豊かな自然と元気な笑顔に出会うまち～』の実現のため、今後もおなほ一層努力されることを願うものである」というのが我々の最後の意見であるが、例えば「市長を始めとした議員の方々には」などの主語を、文頭にもってくるか、「実現のため、」の後に入れたほうがいいのか。よく読めば誰にあてたものかはわかるが、対象を入れたほうがいいのかと思う。

■会 長

このままでももちろん誰が「なお一層努力」するのかは読めばわかるが、もう少し明確に表記したらどうかという意見だが、この点に関してどうか。

□委 員

入れたほうがより一層強くなるのではないかと。

□会 長

「特別職の市長を始め三役、また議員におかれては」など、どういう表現になるかは検討するが、努力する主体を強調する方がいいということか。

具体的にこういう表現がいいという提案があればお願いしたい。あるいは事務局から案があれば。

□委 員

「1 はじめに」の 3 行目に「以下『特別職の報酬等』という」とあるので、まとめて「特別職は」

という主語にしてはどうか。

□会 長

「1 はじめに」の 3 行目で、「古賀市議会の議員の報酬並びに市長、副市長及び教育長の給料（以下「特別職の報酬等」という）」となっているので、「特別職におかれましては」と揃えれば、すっきりするのではないかという意見である。

このままでもわかるだろうという考えもあれば、やはり主語を入れるべきだという考えもあり、主語を入れたほうが良いという意見が多い。

主語を表現するときに、最初に出てきた意見は、最後のまとめのところだから、「市長、副市長、教育長、そして古賀市議会の議員におかれては」と強調するほうが強いメッセージになっていいのではないかというものであった。

ただ他方で、答申案は「1 はじめに」から「6 まとめ」まで連なっているものなので、主語を入れるとしたら、「1 はじめに」と表現を揃えて「特別職におかれては」という形で表現するのがいいという意見が出されている。

他にないか。

□委 員

私は入れなくてこのままでいいと思う。

□委 員

確認をしたいが、事務局案として出したのは、特別職の皆さんが今後もなお一層努力されることを願うものという意味で書いたのか。それとも特別職をはじめ職員も一丸となるという意味で書いたのかわからなかったので、主語をきちんと書いたほうがいいのではないかという意見があったと思う。

■職員係長

今回の答申については、やはり特別職の報酬についての答申なので最後の三行が誰に向けてかということだが、特別職に向けてということで考えていた。

□委 員

では、はっきり書いたほうが良いと思う。

□会 長

「1 はじめに」から「6 まとめ」までを改めて読んでみて、主語を入れたほうがいいのか、入れなくてもいいのか。

主語を入れるとしたらどういう表現がいいか、皆さん確認してほしい。

文言を追加することで、該当部分はよくなったとしても、全体のバランスがおかしくなることもあるので、今一度確認してほしい。

□委 員

「6 まとめ」は非常にやさしい表現になっている。

私は特別職にはもっと奮闘してほしい気持ちがあるので、ぜひ「まとめ」で、再度頑張っていたきたいところを念押しした表現のほうが、より強いメッセージがある気がする。

□会 長

今のところ出ている論点は、「一層努力する」対象、主語を明記するのか、しないのか。

もし入れるとしたら「特別職におかれては」という表現か、それとも「議員、市長、副市長、教育長におかれては」と再度明記したほうがいいのか。

そして、もう一つ意見が出た。「一層努力」という表現がちょっと緩いので、もう少し強い表現のほうが良いのではないかというものである。これらの意見を、一緒にあわせて考えるのか、別々で議論したほうがいいのか。

私は、皆さんの意見を伺ったり、あらためて全体を通して読んでみたりして、主語、対象を入れたほうがよいと最初は思ったが、今回の答申は特別職報酬等審議会のものであり、ここで主語が記されていないなくても、特別職が「努力」とすることは読み取れるので、書かなくてもいいかと思う。これは一委員としての発言なので、皆さんにそうしてほしいという意味ではない。

□委 員

私はくどいようだが、「まとめ」では強いメッセージをなげかけてほしい。

□会 長

強いメッセージを投げかけてほしいとのことだが、対象を入れる方法と、「一層の努力」を、「もう少し奮闘すべき」や、「より一層の努力に努力を重ねるべきである」などの表現で強いメッセージをなげかけたいのか。

□委 員

奮闘を期待しているということ。

□委 員

対象は入れなくていい気がするが。

□会 長

今までの議論を整理すると、対象を入れたほうがいだろうという意見が多かったので字面で確認をしてみたい。

まず一つ目、対象を明確にするということで、もし入れるとするなら下から2行目の「実現のため、」のあとに、「特別職におかれては」と入れることでいいか。

「今後も一層努力・奮闘」とするのがいいか。「努力」を削除して「より一層奮闘されること」がいいのか。あるいは他にあれば。

□委 員

努力していることは当然だが、もっと品格のある言葉があれば。

□委 員

この審議会はいくまでも報酬等審議会なので、報酬等の額以外の答申というのをつけ加えるというのが妥当なのか。

□委 員

先ほど額に見合う仕事をしてほしいという意見があったので、この文言が入っていると考えている。

□会 長

対象に関しては、今のところ意見が半々くらいだと思うので、先ほど提案したとおり、まずは一度、「特別職におかれては」という文言を挿入し、後ほど字面で確認し、検討したいと思う。

「努力される」の表現に関しては、「第4次古賀市総合振興計画の都市イメージ『つながり にぎわう 快適安心都市 こが～豊かな自然と元気な笑顔に出会うまち～』の実現のために」、特別職がどういう行動をするのかということになる。「実現のため」に対応する言葉が「努力」より、もう少し高尚な言葉で表現すべきという意見があった。

私は、「努力」の表現について、「なお一層」という形容動詞がついているので、「取り組まれる」という表現にするのも一つの案としてあると思う。

■職員係長

「6 まとめ」の下3行について、案が何パターンか出ていたので、それで作ることでもいいか。

1点事務局から訂正をさせていただきたい。「5審議結果」の表について、「②特別職の給料月額」とあるが、「特別職」としてしまうと議会の議員も含めた表現になってしまうため、こちらのほうは「市長、副市長及び教育長」ということで訂正をさせてほしい。

□会 長

「5審議結果」の②「特別職の給料月額」を、「市長、副市長及び教育長の給料月額」に直すということだがよろしいか。

«「異議なし」の発言あり»

□会 長

「6まとめ」の最後の3行について、事務局のほうで今までの議論を踏まえて何パターンが案を作成してもらい、また後ほど確認をしたいと思う。

その他に何か意見、コメント等があればお願いしたい。

□委 員

「3会議運営の基本方針について」のところに「市民の代弁者」とあるが、ここにいる委員10人はどういう経緯で選ばれてきたのか。

□会 長

「市民の代弁者として」という表現にかかわってくることになる。事務局はどうか。

■職員係長

特別職報酬審議会条例におきまして、委員さんの構成については、識見を有する者、公共的団体等からの代表、また市民代表ということで構成を定めている。

その中で識見を有する者ということで宗像会長、小江委員、馬場委員、舩越委員。

公共的団体で商工会会長の藤本委員、政治倫理審査会から平川委員、行政区長会会長の中西委員、男女共同参画審議会の倉富委員。

市民代表で、社会福祉協議会の事務局長の高原委員、固定資産評価審査委員でもあり市内に住所もある古川委員となっている。

□会 長

今の点に関連して、「3会議運営の基本方針について」の、「委員は公正中立の立場を貫き、市民の代弁者として広い視点に立ち、自由な発言により客観的に検討した」の表現も、大丈夫ということでよろしいか。

«「異議なし」の発言あり»

□委 員

「2審議会の開催状況」の10月18日の「出席状況」について、「9人出席1人欠席」とあるが、これは記載したほうがいいのか。

■職員係長

報酬等審議会条例の第5条で、「審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない」という定めをおいているので、いずれの審議会も有効に成立しているということをあらわすために出席状況について記載している。

□委 員

「1はじめに」の「全員一致」という表現は問題ないか。

■職員係長

現状維持については、第２回の審議会で決定しているので、「全員一致」ということでは問題はないと思う。

□委 員

会が成立しているから「全会一致」のほうがいいのではないか。

□会 長

「１はじめに」の５行目「『全員一致』の結論」ではなく、「『全会一致』の結論」ではないのかという意見が出ているが、この件について事務局どうか。

■人事課長

事務局として、第２回の経緯を踏まえて、全員出席であったため「全員一致」と表現させてもらったが、「全会一致」という言葉に変えたときに、ニュアンスがどう変わるかは定かでないが、たしかに会が成立したということで、「全会一致」という表現もあっていいと思う。

□会 長

本日の協議の最初に、「減額、増額、現状維持という意見が出たのに、全員一致という表現がいいのか」といった旨の意見が出ていた。

その際、「最終的には全員で現状維持と決めたので、全員一致という表現で大丈夫だろう」という結論に落ちついたが、「全員」ではなく「全会」のほうがより表現として妥当なのではないかという意見が改めて出た。

こちらについても、一度、事務局の方で、「全会一致」という形で修正してほしい。

また事務局には、古賀市として慣例的にどういう表現をしているのか、もしわかれれば確認をしてもらい、「全会一致」と「全員一致」のどちらがいいのかを、また後で議論したい。

再度確認する。「１はじめに」のところで、上から５行目、「全員一致」を「全会一致」と修正。

二つ目が、「５審議結果」の表の②番、これは事務局から提案があったものだが、「特別職」というところを「市長、副市長、教育長」に直す。

そして三つ目が、「６まとめ」のところの下の一三行の対象を明記するということで、「実現のため、」のあとに、「特別職におかれては」という文言を入れる。

最後の「なお一層努力されること」の表現については、どのように表現にすべきか、あるいは直さないのかという結論が出なかったため、我々の議論を踏まえて、事務局のほうで何パターンか用意をしてもらい、それを踏まえて検討するというので、よろしいか。

答申案について、その他に特段コメントがなければ、ここで一度休憩とする。

この休憩の間に、修正案を事務局に作ってもらう。

〔休 憩〕

〔修正案配布〕

□会 長

会議を再開する。

「１はじめに」の上から５行目、「全員一致」が「全会一致」と修正されているがどうか。

≪「異議なし」の発言あり≫

□会 長

表②「市長、副市長及び教育長」の給料月額と修正されているが、いいか。

≪「異議なし」の発言あり≫

□会 長

3つ目の修正は、別紙にいくつか案が示されている。

一つ目は、2行目の右側、「実現のため、」の後に「特別職におかれては」という文言を挿入しただけというもの。

二つ目が「特別職におかれては」を挿入した上で、「なお一層取り組まれることを願うものである」と修正している。

三つ目、同じく「特別職におかれては」という文言を挿入した後、「なお一層尽力されることを願うものである」ということで「努力」を「尽力」という表現に修正している。

四つ目、「特別職におかれては」を挿入した後に、「今後もなお一層奮闘されることを願うものである」。

五つ目、「特別職におかれては、今後もなお一層精励されることを願うものである」。

六つ目、「特別職におかれては、今後もなお一層努力されることを期待するものである」と、後半部分を変えている。「なお一層努力」は原文のままで、「願う」というのを「期待する」ものであると表現した案である。

七つ目、「特別職におかれては」という文言を挿入したあと、六つ目の案と同じように、最後の表現を「努力されることを祈念するものである」と表現をしている。

何か意見があれば伺いたい。

□委 員

会長の言った意見でいいと思う。

普段から本を読んだり、いろんな文書にお目にかかることが多いと思うので、随分慣れていると思うので、宗像会長の言うとおりでいいと思う。

□会 長

そうすると委員の意見は2番目の案の「特別職におかれては、今後もなお一層取り組まれることを願うものである」ということになるが。

□委 員

字面で見ると、「実現のため」、「今後もなお」、「努力」とか、「取り組まれる」という流れが、間に「特別職におかれては」という言葉が入ると、何となく分断されているような感じを受ける。

字面だけ考えて、もし入れるのであれば、「特別職におかれては、第4次古賀市総合振興計画の実現のため、今後もなお一層取り組まれることを願うものである」というように、「特別職におかれては」を入れるなら最初のほうがいいかなという感じを受ける。入れなくてもいいのかなという気もする。

□会 長

「特別職におかれては」を入れるとしたら、はじめにもってきたほうがいいのではないかという意見であり、元々の対象を入れないものでもいいだろうという意見であった。

他にないか。

□委 員

「特別職におかれては」の文言を前に入れるのは問題ない。

その後の「取り組まれる」となると、私から見ると、何に取り組むのかが気になるので、私はどちらかというと「尽力」や「精励」のほうがいいと思う。

□委 員

主語と述語が離れると、長い文書だとわかりにくくなるので、主語と述語は近いほうがいい。私は元々のとおり入れなくていいと思う。

□委 員

言葉の言い回しの好き嫌いとなるので、会長に一任したい。

« 「異議なし」の発言あり »

□会 長

皆様から意見をいただいて、いろいろと議論ができた。

私は、対象は入れるという意見が多かったと思うので、「特別職におかれては」を入れたほうが良いと考える。その場合に、さきほど、文中に入れるという提案をしたが、指摘のとおり、「特別職におかれては」は文の初めに持ってきたほうがわかりやすいだろうと思う。

最後の動詞の表現に関しては、これは好き嫌いの問題になろうかと思われるが、「取り組まれる」が良いのではないかと考える。

私からの提案は、「特別職におかれては、第4次古賀市総合振興計画の都市イメージである『つながり にぎわう 快適安心都市 こが～豊かな自然と元気な笑顔に出会うまち～』の実現のため、今後もお一層取り組まれることを願うものである」だが、これでよろしいか。

« 「異議なし」の発言あり »

□会 長

もう一度字面で確認したいので、事務局にお願いしたい。

[休 憩]

[修正案配布]

□会 長

再開する。

事務局に修正した紙を用意してもらった。

「6 まとめ」の下の上三行のところだが、文頭に「特別職におかれては」を入れ、そして最後のところは、「今後もお一層取り組まれることを願うものである」ということだが、最終確認をお願いしたい。

先ほども修正箇所の確認してもらっているが、答申案はこれで最終的に確定ということでいいか。

« 「異議なし」の発言あり »

□会 長

本審議会の答申は、この内容で決定をする。

もしもこの後、文言や字句の軽微な修正があった場合には、会長に一任をいただきたいがいいか。

« 「異議なし」の発言あり »

□会 長

次第の4を終了する。

5. その他

□会 長

次第の「5 その他」について、事務局からお願いしたい。

■職員係長

皆様、長時間御審議いただきましてありがとうございました。

本日決定しました内容で市長のほうに答申をいたしたいと思いますが、答申につきましては、会長が、この審議会を代表して市長に渡していただくということでよろしいでしょうか。

«「異議なし」の発言あり»

■職員係長

答申書は、事前に会長と打ち合わせをさせていただいておりますが、11月5日にお渡しをするということで調整をしております。最終的に市長にお渡した答申書の写しを委員の皆様にも郵送いたしたいと思っております。

□会 長

ありがとうございます。

後日、私が責任を持って市長へ答申をさせていただきます。

審議会では3回に渡りいろいろとありがとうございました。司会進行がなかなかうまくいかないところもあったかと思いますが、委員の皆様のおかげをもちまして何とか答申案をまとめることができました。改めてお礼を申し上げたいと思います。本当にどうもありがとうございました。

それでは以上をもちまして、古賀市特別職報酬等審議会を解散いたします。皆様どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

■総務部長

私のほうからお礼の言葉を言わせていただきます。

宗像会長をはじめまして、委員の皆様におかれましては、本日の審議会を含めまして3回の審議会ということで、熱心かつ活発な御審議いただきましてありがとうございました。

答申につきましては、先ほど会長言われましたとおり、後日会長から市長へ渡されるということで、提出されました答申につきましては尊重しまして、特別職の報酬等の適正化に努めてまいりたいと考えます。委員の皆様、本当にありがとうございました。

(終了、解散)